

新学年までに今学年の内容をすべて身につけよう

—非受験学年の 2・3 月の過ごし方—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
 - (2)今日は 2 月 3 日で、節分です。私の住んでいる足利市には、鑊阿寺(ばんなじ)というお寺があります。ここには大日如来(だいにちにょらい)が祀られているため、地元の人たちは「大日様」と呼んでいます。今日は、この鑊阿寺で節分の「鎧年越(よろいとしこし)」という行事が行われます。午後の 7 時頃から 8 時 30 分頃までにかけて、鎧(よろい)兜(かぶと)を着けた方々が通 6 丁目にある織姫公民館から鑊阿寺までを練り歩きます。これは、約 750 年前の鎌倉時代中期に足利氏 4 代目が鑊阿寺の南の大門のところに 500 騎を勢揃いさせたという古事にちなんだもので、古式ゆかしい鎧行列が見られます。鎧・兜に身を固めた坂東武者(ばんどうむしゃ)が法螺貝(ほらがい)や陣太鼓(じんたいこ)の音も勇ましく、歴史絵巻さながらに織姫公民館から鑊阿寺までの大通りを練り歩き、本堂で追儼式(ついなしき)、つまり豆まきを行うのです。これは非常にすばらしい行事ですので、足利市にお住まいの方々や鑊阿寺のお近くの方々にはぜひ行っていただきたいと思います。
 - (3)今日は各地で豆まきや節分の行事が行われると思いますので、近くにお住まいの方々にはぜひ参加していただき、また、皆さんのご家庭でも豆まきをしていただければと思います。そして、安倍首相がおっしゃっている「美しい日本」を実感していただければ有難いです。
2. (1)さて、今日の「開倫塾の時間」では、学生の皆さんは 2 月に入ってから何をしたらよいのかということについてお話をさせていただきます。
 - (2)日本の多くの学校では、3 月が学年末になります。4 月から新しい学年がスタートし、3 月末でその学年が終わるのです。そこで、私が皆さんにお願いしたいのは、2 月と 3 月に 1 年間の学習の総まとめをしていただきたいということです。
 - (3)高校 3 年生や予備校生などの受験生の皆さんは、大学入試センター試験が終わり、これからは私立大学入試や国公立大学の二次試験があります。また、栃木県はじめ各県の県立高校入試は 3 月上旬に実施されますから、中 3 生の受験生の皆さんはあと 1 か月後に本番を迎えます。ですから、受験生の皆さんはこの 2 月と 3 月は自分の行きたい学校に合格できるように頑張ってくださいと思います。
 - (4)ただ、多くの学生の皆さんは受験生ではありませんので、その受験生でない方々の 2 月と 3 月の過ごし方についてこれからお話をします。
 - (5)繰り返しになりますが、とにかく 1 年間の学習内容の総復習をしていただきたいと思います。多くの学校では 2 月下旬から 3 月初旬にかけて学年末テストが行われます。それをよい機会ととらえ、一所懸命に勉強して下さい。
 - (6)その勉強の目標は、学年末テストでよい成績を取ることはもちろんですが、次の学年、つまり 4 月から始まる新学年になって前学年の復習をしなくても済むようにすることです。

- (7) 前学年の学習内容が 100 % 身に付いていると、新学年で学習する内容もよくわかり完全に身に付くという考え方があり、私も賛成です。ですから、よい成績を取ったり高い学力をつけたりするためには、その学年のことはその学年のうちに全部終わらせておくことです。次の学年に進んでから全く復習しなくてもよいぐらいまで熱心に勉強しておくことが大事であると思います。
- (8) 具体的には、教科書をしっかりと読んで書かれていることを見直したり、ノートを見て授業で教わったことを確認したりしながら、1 年分の学習内容をゆっくりゆっくり復習し、「うん、なるほど」とよく理解できる状態にまずはしていただきたいと思います。
- (9) ただ、よく理解できても、それが身に付いているとは限りません。ですから、理解したあとは大きな声を出しながら教科書やノートなどを読み、そこに書かれていることをすべて正確に覚えて下さい。
- (10) ところで、学校の成績を上げるのはそれほど難しいことではありません。まずは学習内容を「うん、なるほど」と一度よく理解し、そのあとは理解した内容をきちんと覚えればよいのです。覚え方には 2 つあります。その 1 つは、教科書に書かれていることや学校の授業で先生が説明されたことを、口をついて正確にすらすら言えるまでにすることです。これは、教科書の全内容でなくてもいいのですよ。とにかく大事なところだけでよいので、何も見ないですらすら言えるようにしましょう。
- (11) もう 1 つは、誰でも読めるていねいな文字、つまり楷書(かいしよ)で書けるまでにすることです。英単語のスペリングや漢字の書き取りは本当に大事です。また、理科や社会には重要な語句がたくさんあります。数学にも数多くに公式が出てきます。そのような大事な単語・漢字・語句・公式だけでよいですから、教科書や新聞の活字のような文字である楷書で正確に書けるようにしましょう。そのとき、書き順も正しく書けるまで、何回も練習することが大事です。
- (12) それから、簡単な計算や問題は見た瞬間にパッと答えが出るようになるまで計算練習と問題練習をすることも大事です。私がお勧めする練習の仕方は、数学であれば同じ問題を 5 ～ 6 回繰り返して解くことです。最初のうちはなぜこのような答えになるのかその理由を考えながら解き、その理由がよくわかったら問題を見た瞬間にパッと答えが出るまでにするとよいと思います。例えば 2×3 では、2 に 3 をかけるとはどういうことかがよくわかれば、6 という答えが出ます。ここまでしておくと、 2×3 を見た瞬間に 6 という答えがパッと出てきます。そして、 5×5 、 $12 \div 3$ もそれぞれ 25、4 と瞬時に答えられるようになるのです。
- (13) そして最終的には応用問題を練習すると、すばらしい学年末の勉強ができますので、ここまでをぜひ行っていただきたいと思います。
- (14) 今の時期は、この 1 年間でやるべきこと・やり残したことをすべてやり終えられるように勉強に励んで下さい。そして、学年末テストですばらしい成績を収めていただければと思います。

3. (1) 最後になりますが、足利フラワーパークでは今頃から 2 月下旬にかけて寒梅・寒紅梅などと言われる梅がすばらしく咲き誇ります。栃木県には、このほかにもすばらしい植物園や社会教育施設、県立公園、市立公園などがあります。放送をお聴きの皆さんも、お近くの公園や植物園、文化施設などに足を運んでいただき、自然に親しんでいただきたいと思います。
- (2) 足利市にお住まいの方は、節分の鎧年越が今夜の 7 時頃から 8 時 30 分頃まで鑊阿寺で催されますので、ぜひそこにお出掛けになって楽しんでいただきたいと思います。どうぞ「福は内、鬼は外」をお楽しみ下さい。

— 2013 年 2 月 16 日(土)加筆・訂正 林 明夫記 —